

◆平成 27 年度高等教育公開セミナーのご案内◆

— 大学における学習 —

開催日	平成 27 年 8 月 20 日（木）～21 日（金）
場所	広島大学高等教育研究開発センター
定員	30 名（先着順で受付）
受講対象	高等教育に関して基礎的な知識習得を希望する者
講義内容	（後述のプログラム参照）
講師	広島大学高等教育研究開発センター教員等
受講料	無料
申し込み方法	メールで申し込み（後述）
申し込み期限	平成 27 年 8 月 17 日（月） <ul style="list-style-type: none"> ● 定員に達した場合はその時点で締め切ります。 ● 締切日に定員に達しなかった場合は、締切日以後も申込を受け付けることがありますので、後述の連絡先までご照会ください。

広島大学高等教育研究開発センター（以下「センター」）は、1972 年、この分野では日本で最初に設置された大学・高等教育に関する研究のための専門機関です。センターは高等教育の基本的な理念、構造、機能等について基礎研究及びそれに基づく大学院教育（修士課程・博士課程）を行う一方で、幅広く受講者を募って公開講座やセミナー等を開催してきました。

本年度は、8 月 20 日（木）から 21 日（金）にかけて「大学における学習」と題して高等教育公開セミナーを開催いたします。講義では、大学における学習に関連して、政策や大学での取り組み、学生の対応、諸外国の状況などについて、講師が様々な角度から取り上げることとしています。

本セミナーの講師はセンターの専任教員及び研究員が務めます。講義の内容は高等教育に関する基礎的な事項を対象としております。各講師が様々な角度から自己の研究に基づいて知識社会と大学教育に関する問題を取り上げ、それを受講者とともに掘り下げていくこととしております。

日頃大学運営に携わる大学教職員を始めとする方々、あるいは高等教育に関心をお持ちの方々の幅広い参加をお待ちしております。

[プログラム]

	時間等	講義名・講義内容等
第 一 日 8 / 20 木	10:30～	受付
	11:00～11:10	開講行事
	11:10～12:10 講義 1 丸山 文裕	大学改革の背景と課題 各国で大学改革が行われている。大学での教育研究を活性化して、経済成長に結びつけよとする目論見である。では学生の学修と経済成長はどのように結びつくのか、受講者とともに考えたい。
	12:10-13:10	昼休憩
	13:10～14:10 講義 2 藤村 正司	「大学における学び」—その背景・実態・改革の方向性— 1990年代以降のデフレ経済、グローバル化、少子化の下、規制緩和による大学設置基準の改正、教養部改組、認証評価制度を振り返り高校生・大学生の学びの実態を全国調査で概観する。そして、最後に大学教育の高等普通教育化、職業とのレリバンス、大学教育の改革の方向性（単位制の実質化、ガバナンス改革、センター試験の刷新）について受講者と一緒に考えたい。
	14:20～15:20 講義 3 佐藤 万知	「主体的な学び」を考える—ICE ルーブリックを作成する— 近年、「主体的な学び」や「アクティブラーニング」という言葉が一般的に使われるようになってきているが、どういう状態の時に学生の主体的な学びが起きていると考えられるのだろうか。本講義では、学びを構造化し、学びの目標を明確にする ICE ルーブリックを実際に作ってみることを通して、皆さんと一緒に「主体的な学び」について考える。
	15:30～16:30 講義 4 村澤 昌崇	日本の高等教育の量的展開と政策を振り返る—機関レベルの規模・範囲の軌跡と政策効果の検証— 本講義では、戦後大学の機関レベルの定員・実員の縦断データを用い、1.規模・範囲（学部構成）の変容の軌跡を検討し、2.政策（高等教育計画）や社会変動（景気・人口など）への感応性の高い機関の特徴を検討しつつ、3.変容軌跡の類型化を行い、機能の分化の有無や特徴を推定することを目的とする。これら検討を通じ、マクロ・ミドルレベルでの量的質的適正化を模索することの必要性を議論したい。
	16:40～17:40 講義 5 渡邊 聡	「SERU 学生調査」—教育の国際的な質保証に向けた広島大学の取組み SERU 学生調査は、学生の学習環境・意識・将来計画等についてアンケート調査を行うものである。調査実施大学は、その結果を用いて海外大学の学生との比較・ベンチマーキングによって、国際的な教育の質保証に結び付けることが可能である。本講義では、実施機関である広島大学の取組を紹介する。
18:15～	懇親会（希望者のみ、会費制、場所は大学近隣を予定）	

	時間等	講義名・講義内容等
第 二 日 8 / 21 金	9:00～10:00 講義 6 大膳 司	新高大接続テスト導入の経緯と今後の大学教育の課題 平成 26 年 12 月 22 日に中央教育審議会が『新しい時代にふさわしい 高大接続の実現に向けた高等学校教育、大学教育、大学入学者選抜 の一体的改革について』を答申した。その中で、「高等学校基礎学 力テスト（仮称）」と「大学入学希望者学力評価テスト（仮称）」 が提案された。これらのテストの内容は何か、なぜ提言されたのか 今後大学入試はどのようになり、大学教育にどのような影響を及ぼ すか等について、受講者と一緒に考えてみたい。
	10:10～11:10 講義 7 小入羽 秀敬	大学教育改革の変容—政府は大学教育の何を変えたかったのか— 大学教育改革の変容について、中央教育審議会答申や教育再生実行 会議等の提言を追うことによって明らかにする。過去からの政策変 化を押さえることによって、現行の大学教育改革を相対的に把握す ることを目的とする。
	11:20～12:20 講義 8 島 一則	教育・学習の経済・社会的効果—汎用的能力に注目して— OECD による PIAAC（Programme for the International Assessment of Adult Competencies：国際成人力調査）に基づき、（大学）教育が、 汎用的能力・学習力・自己学習投資にどのような影響を与え、それ らがどのように経済（賃金）・社会的効果（健康・政治的効用感） を生み出すのかについての検討を通じ、大学教育の今後のあり方・ 方向性を検討する。
	12:20～13:20	昼休憩
	13:20～14:20 講義 9 秦 由美子	高大連携の中での学び 中等教育の学びの中でも特に教養教育が高等教育に与える意味を、 日本とイギリスの中高一貫校におけるカリキュラム内容を比較しな がら考える。
	14:30～15:30 講義 10 大場 淳	フランスの大学における学生の学び フランスの大学では、留年や退学に至る学業不振が多い。例えば 1 年次から 2 年次への進級試験に合格する者は半数にも満たず、学士 号を取得する者は留年者を含んでも 6 割に満たない。本講義では、 このような課題をかかえるフランスの大学教育の状況、学生の学び の向上へ向けた取組を概観する。
15:30～15:40	閉講行事	

〔申込方法〕

- 申し込み期限日までに、①氏名、②所属・職名、③受講希望日、④懇親会の出欠を記載して、メールにてお申し込みください。
- 大学毎にまとめてお申し込みいただいても構いません。
- 申し込みの受理等センターから申込者宛の連絡は、お申し込みの際に記載いただいたメールアドレスへ送付されます。まとめて申し込まれた場合は、各受講者にご連絡下さい。
- 申し込みをされた方で、翌日（休業日を除く）までに受理の可否について連絡が無い場合は、お手数ですが下記照会先（センター事務係）までお問い合わせください。

〔留意事項〕

- 申し込み数が定員を超えた場合はその時点で受付を終了いたします（その旨センターの Facebook で告示します）。
- 締切日に定員に達しなかった場合は、締切日以後も申込を受け付けることがありますので、下記連絡先までご照会ください。
- 講義の時間割等は、都合により変更になる場合があります。
- 懇親会に参加希望される方は当日受付で会費をお支払い下さい（3千円程度の見込み）。
- 宿泊が必要な方は、各自ホテル等をご予約ください。
 - 最寄り「西条 HAKUWA ホテル」です（徒歩圏内）。
 - 公共交通機関を利用される場合は、上記西条 HAKUWA ホテル以外に、西条駅周辺又は広島大学・西条駅間にある宿泊施設が便利です。
 - 東広島駅近隣のホテルも利用できますが、バスの便が少なく、第1日講義終了後に予定している懇親会後はバスがありません。
- センターへの経路は、次頁及び以下のサイトを参照ください（バスの時刻表も以下のサイトから入手できます）。

<http://www.hiroshima-u.ac.jp/top/access/index.html>

〔本件に関する照会先〕

◇受付等に関する照会は「センター事務係」まで

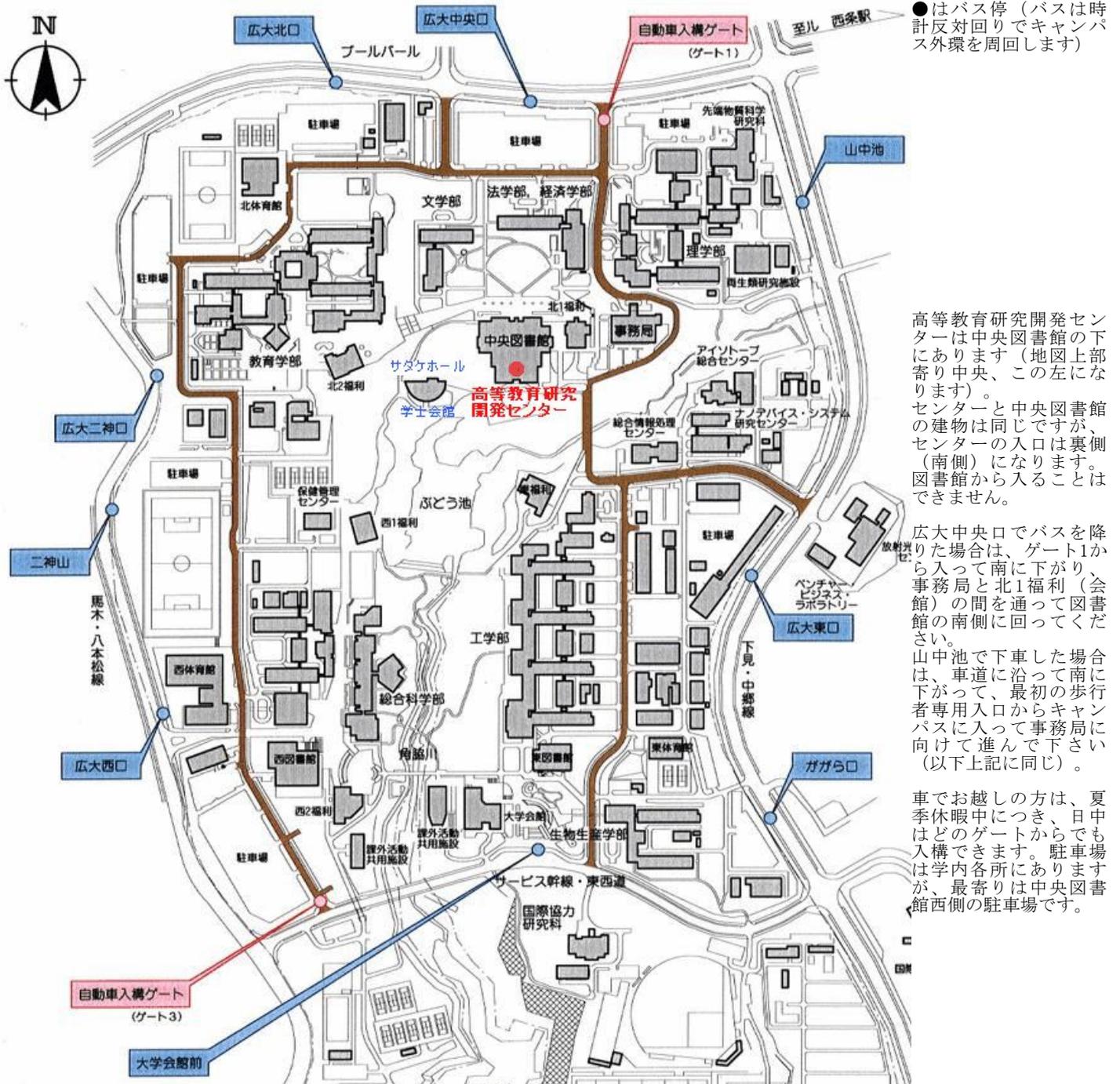
TEL : 082-424-6240/6244 E-MAIL : k-kokyo@office.hiroshima-u.ac.jp

- センター事務室は8月12日（水）から14日（金）まで一斉休暇の予定です。

◇内容等に関する照会は「大場淳」まで

TEL : 082-424-6233 E-MAIL : oba@hiroshima-u.ac.jp

(別紙) 公開セミナー会場の案内



●はバス停 (バスは時計反対回りでキャンパス外環を周回します)

高等教育研究開発センターは中央図書館の下にあります (地図上部寄り中央、この左になります)。センターと中央図書館の建物は同じですが、センターの入口は裏側 (南側) になります。図書館から入ることはできません。

広大中央口でバスを降りた場合は、ゲート1から入って南に下がり、事務局と北1福利 (会館) の間を回って図書館の南側に回ってください。山中池で下車した場合は、車道に沿って南に下がり、最初の歩行者専用入口からキャンパスに入って事務局に向けて進んで下さい (以下上記と同じ)。

車でお越しの方は、夏季休暇中につき、日中はどのゲートからでも入構できます。駐車場は学内各所にありますが、最寄り中央図書館西側の駐車場です。

広島大学高等教育研究開発センターへの経路

- JR在来線 (山陽本線) 経由
 - 西条駅から広島大学循環便バスで「広大中央口」下車。所要約12分。平日日中は約15分間隔で出ています。
 - 八本松駅から広島大学循環便バスで「山中池」又は「広大中央口」下車。所要約15分。初日は八本松駅10時25分発のバスが利用できます。
- 山陽新幹線経由 (東広島下車)
 - 東広島駅から広島大学 (大学会館前) 行バスで「山中池」又は「広大中央口」下車。所要約15分。初日は東広島駅10時25分発のバスが利用できます。
 - タクシー利用 (約2,000円)。
- 山陽新幹線経由 (広島下車)
 - JR山陽本線で西条駅又は八本松駅まで行き、バス乗車 (上記参照)。
- 航空機利用 (広島空港着)
 - 広島空港からJR白市駅までバスで行き (所要約15分)、JR山陽本線で西条駅下車 (所要約10分)。バス乗車 (上記参照)。
- 広島市発高速バス (JRグリーンフェニックス) 利用
 - 広島バスセンター又は広島市内停留所 (「不動院」及び「中筋駅」) から広島大学方面行のJR高速バス『グリーンフェニックス』に乗り、「広大中央口」下車 (バスセンターから所要約1時間、予約不要)。初日はバスセンター9時3分発のバスが利用できます。